

2020年度 全国科学館連携協議会 近畿ブロック会議報告書

1. 開催日時： 2021年1月26日(火) 13:00～15:30

2. 開催方法： Zoom 会議室にてオンライン開催

3. 出席者：

明石市立天文科学館	鈴木様、沖中様
伊丹市立こども文化科学館	大島様
大阪科学技術館	宗田様、松本様、中井様
兵庫県立人と自然の博物館	小山様、鈴木様
福知山市児童科学館	桐村様
全国科学館連携協議会	原様、野田様
神戸市立青少年科学館	和田、末次、兒島
	計14名参加

4. 会議内容

①講演「新型コロナウイルスの科学」

神戸市立青少年科学館 館長 和田 智明

現在、世界中の人々を苦しめている新型コロナウイルスについて、ウイルスの特徴と人間の体細胞と結合する仕組み、ワクチン開発、国内外の研究の状況等について、最新情報を含め科学的側面から説明した。

②コロナ禍における各館の運営状況について

臨時休館期間、特別展企画展等イベント・ワークショップの開催状況、入館者数の推移、プラネタリウムの座席制限などについて各館から報告、情報共有を行った。従来のようなイベントやワークショップができない中、オンライン観望会やWebセミナー、youtubeチャンネルの開設、SNSでの発信、ARやQRでの展示解説、アバターロボットの活用など、オンラインや非接触による展示や発信にチャレンジした館も多かった。Co2センサーを購入し密集度を測定したり、換気用ダクトを購入するなどして、換気率を上げる工夫をした館もあった。

③各館が取り組む地域連携について

神戸市立青少年科学館

2019年度より開催している「ポートアイランドサイエンスフェスティバル」を、近隣の研究機関・施設・学校団体の協力を得て開催。今年度は、ワークショップも事前申込者のみなど制約される中ではあったが実施した。近隣施設と月1回の会合も開いており、お互いの集客アップにつながる相互連携の取り組みを、今後も続けていく。

伊丹市立こども文化科学館

日食イベントを市内東西南北の公共施設とコラボした取り組みを発表。

4つの公共施設に科学館職員が各2名程度で出向き、住民が最寄りの公共施設で日食を観察できるような地域連携を実施した。

④その他、各館からの提案議題

神戸市立青少年科学館

近畿ブロックの幹事館を兵庫県立人と自然の博物館より当館が引き継いで2年目。

引き受け時より3年を目途に、次の館に幹事館をお願いする想定にしていたこともあり、再来年度よりご担当いただける館がないかご検討いただきたい。

立候補がない場合は、加盟館全体の幹事館担当リストを作成し、順番に幹事を担当するような仕組みを作ることも検討したく、今後連携協事務局にもアドバイスをいただきながら考えていきたい。

以上